

SR型光ファイバーゲート開閉検知センサ Transcore

1. SR型光ファイバーゲート開閉検知システムの概要

SR型光ファイバーゲート開閉検知センサシステムは、樋門、水門、陸閘などのゲートの位置を光信号として検知し、検知情報を送信装置でシリアル光信号に変換、遠隔にある受信装置でシリアル光信号を電気信号に再変換し、開閉状況を上位装置に伝達する機能を持っています。本システムは、設置時調整作業が不要です。また、送信装置内臓バッテリーは10年間使用が可能で、メンテナンスフリーです。

2. SR型光ファイバーゲート開閉検知システムの特徴

- 送信装置はバッテリーで10年間動作します。
- 受信装置は開閉(接点)信号を、上位装置に出力します。
- 伝送系は光ファイバーで、雷害の影響を受けません。
- メンテナンスフリーで、維持管理費を縮減します。



開閉検知部 SRG-1001S
-仕様- 寸法 : W100×H40×D150
重量 : 約0.5kg



送信装置 SRG-100nT
-仕様- 寸法 : W300×H400×D120
重量 : 約5kg

3. SR型光ファイバーゲート開閉検知システム適用場所


本システムは、次の様な状況下で効果を発揮します。

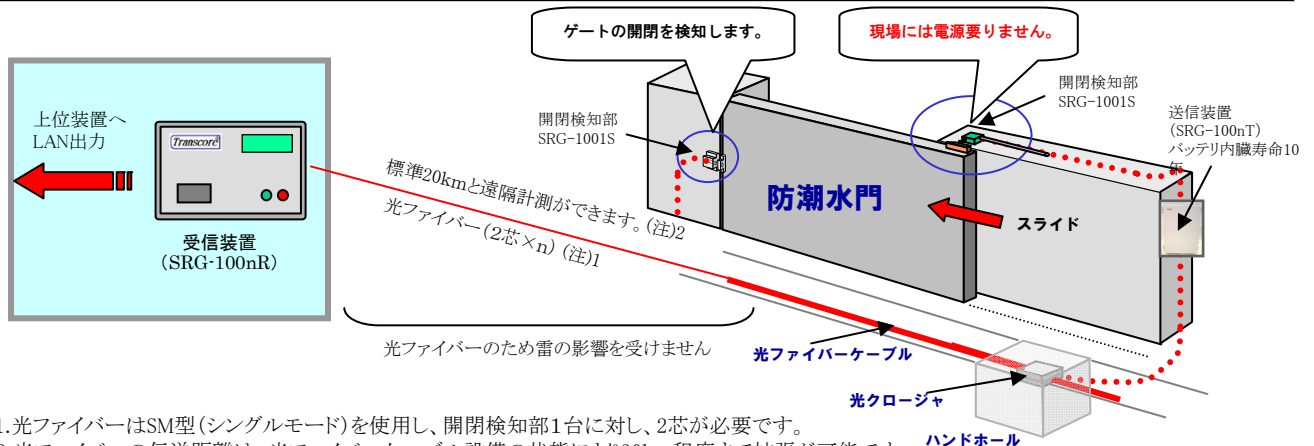
- 電源確保が困難
- テレメータなどの無線が届きにくい
- リアルタイムでデータを取得したい
- 伝送系の2重化を図りたい
- 雷が多発する



受信装置 SRG-100nR
-仕様- 寸法 : W210×H90×D350
重量 : 約5kg

4. SR型光ファイバーゲート開閉検知システム接続構成

型式	適用	仕様	備考
開閉検知部 SRG-1001S	SM型光ファイバー 	1)動作離隔 : ゲート離隔1cm以内 2)動作環境 : 付属永久磁石	1)開閉検知部 SRG-1001Sは1ch仕様です。 2)4ch時の型式例 SRG-1004T SRG-1004R 3)標準20km以内であれば設置時の調整は不要です。
送信装置 SRG-100nT (注)<n>には開閉検知部収容台数が入ります。		1)入力数 : 1~n 台 2)入力信号 : 無電圧接点信号 3)光出力信号 : 1.55 μ 帯 4)光ファイバ : SM 2芯	
受信装置 SRG-100nR (注)<n>には開閉検知部収容台数が入ります。		1)光入力信号 : 1.55 μ 帯 2)許容光損失 : 標準 20dB(ループ) 3)出力インターフェイス : 10Base-T, 100Base-Tx	



- (注) 1. 光ファイバーはSM型(シングルモード)を使用し、開閉検知部1台に対し、2芯が必要です。
2. 光ファイバーの伝送距離は、光ファイバーケーブル設備の状態により30km程度まで拡張が可能です。
3. 送信装置の内臓バッテリー寿命は機器納入から10年です。